



## 第16回全国ローターアクト研修会報告

2004年2月21日～22日



パストガバナー 小船井 修 一 (帯広RC)

### 第一日目分科会メモ

ロータリー部門・研修会テーマ「会員増強について」

司会進行 上川 正司 (帯広南RC)

進行補佐 小室 憂貴 (北見RAC)

#### ● 趣旨説明

地区名簿を全国から収集し、プレゼンテーションをさせていただくことにしている。

今回のテーマは「会員増強」であり、各地区での事情は異なるかもしれないが、参考になればと思っている。

プレゼンテーション終了後、提言をさせていただき、休憩後質疑応答していただく予定になっている。また、アンケートにも協力いただきたい。

#### ● プレゼンテーション

- ・在籍可能年齢人口に対するアクター比率18歳～30歳人口に占めるアクターの比率  
福島>青森>
- ・年齢別のアクター在籍は、若年者の大部分は大学生であり、28歳～29歳が中心年齢。
- ・地区別で千葉県は隔年で増減がある特徴をしめし、三重・岐阜は年齢構成比がフラットである。
- ・地区別のクラブ数は福井・滋賀・奈良・京都がダントツに多い。
- ・クラブ平均在籍人員では福島で135名のクラブがある関係から35名平均となっている。ちなみに北海道東部は15名平均。
- ・過去27年間で1987年をピーク(約7500名)に減少傾向に転じ、2003年は5000人になっている。
- ・また、クラブ数も1990年から減少傾向。



#### ・2500地区アクト活動内容報告

○北海道交流会、地区協議会、マザーズホーム訪問(サンタクロース)、ベンチャークラブとの合同例会、ゴミ拾い、チャリティーパーティー、流水祭りへの参加、春の交通安全協力、公園遊具の安全性チェック、リングブルの収集、風の子寮収穫祭手伝い、地区大会ホスト

#### ○ローターアクトの日

- \*平成15年9月7日に開催、
- \*第一ブロック「運動会を通して親睦」
- \*第二ブロック「公園トイレペンキ塗り奉仕」
- \*第三ブロック「清掃活動とウォークラリーの実施」

#### ● 提案事項 (上川委員長)

- ・ローターアクトはロータリーがスポンサーになっている18歳から30歳までの奉仕クラブ。地元ロータリークラブがスポンサーで設立されロータリー活動の重要なパートナーとされている。
- ・現状の会員数の動向は減少傾向に歯止めがかからない状況が大きな課題といえる。7,500人から4,958名に減少し、ロータリーも13万人(1997年)から現状は107,975名に減少している。世界的には7,377クラブ17万人のアクターが在籍し、一クラブあたり32名の在籍であり、日本の現状はきわめて悪い状況と言えよう。

#### ● 質疑応答

- ・(2500地区釧路北RC)ロータリークラブ・アクトも共通して会員減少が激しいのは、ロータリーでは会費負担の問題が大きいと認識している。このままでは衰退は止まらない。地区では300名の会員が減少しているなかで地区資金削減を強力に要請したが150万円の削減のうち、雑収入を削減して予算を編成したりして問題があると感じている。地区負担金、クラブの負担金を削減させなければ衰退は加速すると思っている。
- ・(2790地区館山RC)ローターアクトの減少はロータリークラブの問題が大きいと思っている。私自身アクターであったが、その当時はロータリークラブのアクトに暖かい眼差しを注いでいただいていた。ローターアクトに増強をロータリーからお願いをするのが本筋であるし、ロータリークラブの役割であると確認したい。
- ・(2500地区北見RC)今の意見に賛成である。数年前に地区アクト委員長を経験している。ロータリークラブが一生懸命にならなければアクトは増強できない。4～5名のアクトは存続が厳しい。そのようなクラブの建て直しはロータリークラブが真剣にならなければならない。ロータリアンの理解が浅いことも問題と思う。特に地区全体がローターアクトについてのクラブ指導が必要と感じている。
- ・(司会)年齢別在籍人数は74年生まれ、75年生まれがこの2年で卒業すると4000人を切る人員になると危機感を持っている。
- ・(大阪御堂筋RC)会長エレクトがアクト委員長に就任する形になっているが、司会のお話と同じ危機感をもって会員増強を実践している。
- ・(司会)参加者で子弟や社員をアクトに入会させている会員の皆様の意見を伺いたい。
- ・(2660地区)ロータリーの減少と同時にアクトも減少している。ロータリー自身が30名を切る状況のクラブがあり、提唱クラブとしての資金負担が大変になっているのに対して、ガバナーから提唱していないクラブの協力を要請している。



- ・(2840地区群馬県太田RC松本) 47のクラブと12のアクトが在籍している。未提唱クラブに対して協力要請をしている。しかし「壁」は厚い。その要員はローターアクトプログラムが提唱されて30年以上経過しているなかで、それぞれの地区での歴史的な経過によってガバナーの熱意の年度によって違いが出ている。青少年プログラムでアクトが必要なかどうかについてもガバナーの力は大きい。全国のガバナーがテコ入れをしていただきたい。
- ・(司会) 奉仕の中で顕著なプログラムはローターアクトであるとしている。世界的にはアクトの活動は認識されてきているが日本はそれがない。皆さんの意見を伺いたい。
- ・(2690地区島根平田RC) クラブは30年で25年前にアクトを提唱した。創設当時はクラブメンバーの子弟が中心であったが、平均年齢が高まるとともに、従業員を入会させて、子弟はゼロになっている。
- ・(司会) ローターアクトクラブ子弟を入会させて勉強する場としてのローターアクトの設立動機があったとも聞いている。帯広アクトは40名以上の会員であるが、帯広市内5クラブがスポンサーとなっていて活力のあるクラブである。
- ・(2500地区長谷川バスタガバナー) 資金的な側面から帯広市内クラブに声をかけて協同でホストをすることになった。
- ・(2740地区佐賀長崎地区委員長) 地区全体で支えるべきとの意見があったが、まったくその通りと思う。提唱しているクラブであってもメンバーによって「温度差」がある以上に地区全体でも温度差がある。未提唱クラブに対しての協力要請をするのが地区ガバナーの役割であるとの認識でガバナー月信にアクトの活動状況報告、アクト委員会の報告を毎月掲載している。ロータリアンへの広報活動が必要と思う。もう一つの課題はロータリー自体の会員減少に伴う財政問題であり、未提唱クラブの貢献としての地区内「人頭分担金」制度を作ることも一案と思っている。
- ・(2770地区・地区委員長) 地区内で休眠クラブも存在する。自分のクラブではアクトは提唱してなくて経験は皆無であったが、今はアクトに漬かっている。会長が無知なクラブではアクトは伸びていない。大学は3校あるが、そのほかにロータリーが納得すればすぐにも出来る大学があるが、なかなかクラブの理解を得ていない。やる気のある地区ガバナーと地区委員長がいれば必ず増強できる。
- ・(2580地区・地区委員長) 未提唱クラブから資金援助を頂戴する内容として、一クラブあたり3万円を拠出いただいている。しかし、時の経過とともに「抵抗」が厳しくなり、本年度は請求していない。一番大事なのはロータリアンへの啓蒙であろう。昨年のガバナーはアクトに冷淡であったが、青少年に対する活動としてのアクトは重要と思っている。4～5名のアクトは活動していないと言えよう。一方成長しているアクトは、ロータリアンの関与が高い傾向にある。アクターの側にも問題がある。資金面での「自立」が基本になっているのに依存心が高い。基本を踏まえてアクト活動を実践する必要がある。ロータリアンとアクターとの「資金面」での関係を整理するべきかも知れない。
- ・(2670地区四国地区委員長) 年間900円の地区人頭分担金を徴収している。平均300万円程度の資金規模として地区が使っている。提唱クラブからアクトへの平均助成額は24万円であり、地区外地区内活動費用として使わせ、例会などは自主活動とさせている。地区内会員数は200～250名で推移しているが、ゼロクラブが一クラブ存在する。ローターアクトの問題と同時にロータリーの問題もある。ゼロクラブは本年度は解消している。それは地区のアクト委員の尽力であった。「クラブを停止しますか」という問いかけに対する真剣な取組みがあったためであろう。5年周期でゼロから1～2名で推移し



- ていた大学クラブが77名になっている。
- ・(司会) 昨年の横浜研修会でアクターより地区アクト委員長の「温度差」によって違うという意見があったが、その通りと感じている。
- ・(2720地区熊本大分地区委員長) ロータリーが100年アクトは30年という時間の経過が「ゆるみ」を生んでいる。アクターがロータリーに対して正直に意見を言うような形が大事である。また、アクトに関してはロータリアンは2年とは言わずもっとかかわっていくべきである。
- ・(2820地区まかべRC) 提唱してアクトクラブは35年経過している。経済的な問題で減少している。ガバナーにアクトの行事に参加いただくことを要請している。ロータリー全体がアクトに関心を持っている形を示さなければならない。今年はロータリーファミリー分区大会を企画している。従来のIMとは違って、雛人形を町全体で飾るイベントを町が実施している機会を捉えて分区のロータリアンの家族、奨学生、ローターアクターを集って応援をいただいている。ロータリアンにもアクター参加のウォークラリー清掃活動を実施したなかで、アクターの活動の実際についてロータリアンの認識が深まったと思う。ロータリアンへのアクトに関する「広報」が有効である。
- ・(司会) ローターアクトニュース一月号で36周年の紹介記事があった。提唱クラブとともに様々な活動実践(クラブの相互訪問・協同プロジェクト)が提案されている。
- ・(2500地区釧路北RC) 会費の話の補足説明をしたい。釧路北のアクターはほとんど企業から入会したメンバーで構成されている。会社命令で入会するという「意識」を払拭しなければ根本的な解決は難しいと思う。ローターアクトの衰退は財源を確保するという意識を常に持たなければならない。
- ・(2660地区) 山梨大学のアクトをサポートしている。ベトナムのマングローブの植林事業を目玉にして募集しているし、大学祭でも出店を作って資金を稼いでいる。
- ・(2500地区旭川モーニングRC) 市内7クラブのうち、4クラブが提唱している。30万円の補助金を25万円に減額したが、アクト自体の活動は活発である。3代目会長のとときにアクトを創設させ、現状8名の会員で、年間活動計画を見ると毎月毎月活発な活動を実践している。ロータリアンとアクターとのコミュニケーションが密接である。ファミリーパーティー、合同例会などで良好な関係を維持している。ファミリーパーティーも他のアクトクラブも巻き込んでいるし、提唱クラブにとっても青年の考え方を学ぶ良い機会となっている。
- ・(2640地区岸和田RC) 「だんじり祭」の岸和田である。親が子供を育てるのは当たり前である中で、ロータリーが人を育てる情熱が希薄になっていることは大変残念である。提案であるが、今日参加いただいたメンバーが自分のクラブに帰ってクラブメンバーを啓蒙いただきたい。
- ・(石川富山地区) 16クラブで補助金は17万円～45万円の範囲である。地区の分担金はアクトクラブに還元させていない。増強に関しては3年間会員1名というアクトがあった。提唱クラブの会長の努力で15名になった事例がある。
- ・(司会) 2500地区のアクトは熱心であり情熱を持っている。ロータリーはアクトの背中を押していただきたい。彼らは情熱を持っているので。
- ・(国際大会実行委員会青少年担当より) ブリスベン大会でプレコンベンションを中止するとのことであったが、理事会で本大会で組み込むことになった。5月23日ワークショップが開催されることになった。12月15日現在32千人の登録でワークショップの登録は100名に満たない状況であるので積極的な参加をお願いしたい。



## 研修会メモ

### 全体テーマ「ロータリーの指南、アクトの未来」

アクトサブテーマ「アクトの存在」、ロータリーサブテーマ「提唱」

モデレーター 2500地区パストガバナー 田中 弘

パネラー 道下 俊一 (2500地区PG) 小船井 修一 (2500地区PG)

吉村 和幸 (2650位区鯖江RAC) 切越 愛美 (2500地区帯広RAC)

### ● 田中PGの司会で開催される

昨日懇親会で万歳をさせていただいた。分科会に400名近い参加を期待していたが、若干少ない感じである。

今回の全研での最大のイベントがこのパネルディスカッションであると思っただきたい。ロータリーは人の上に人を作らず、人の下にも人を作らずというが、対等な中での討論をお願いしたい。桐生ロータリークラブの前原PGはアクトはロータリーの下部組織ではないとし、「ロータリーの貸家論」で話している。アクトはロータリーと親分子分の関係ではないということであり、ロータリーはアクトに「家」を貸しているに過ぎず、アクトはその家を使って有意義な活動を期待しているのである。

パネラーの紹介 (略)

このパネルは11時15分までであり、パネラーから10分毎に発表をいただき、補足として3分程度のスピーチをいただき、その後討論をしていきたいと思っている。

### ● (パネラー) 道下PG (ロータリーの基本理念とアクトをなぜ提唱しているのか)

84年～85年のパストガバナーである。

最近ロータリーもアクトも衰退している。1970年代80年代のエネルギーは今はない。その中で経験したことをお話ししたい。ガバナーのとき、青少年奉仕に焦点をあてた。我々の目的は明日を築く青少年のために「広い道」を作るべきであるとの意見であった。その中で、「ロータリーに私の青春を返せ」という投稿が「友」にあった。それはアクトのメンバーからであり、社会奉仕プログラムの実践などでロータリーが「口を出し」そして「命令」をするだけで、汗と一緒に流さないロータリアンへの批判であった。

一時、チミケップでのキャンプの創設などを実践した私にとっては非常に残念な投稿であった。

公式訪問でも、アクトの例会に一度も参加していない多くのロータリアンの存在を確認し、アクトのメンバーにアンケートをとったところロータリアンへの不満が多くあったのが事実である。

2500地区内ロータリーは68クラブが存在しアクトは15クラブである。4分の1しか提唱していない。他のクラブはまったく関心が薄い。

富良野では私のアクトクラブ提唱要請に対して早速、アクトを創設いただき、紋別でも大学での創設に結びついた。

2500地区のライラも継続している。ライラの2日3泊の研修が終了した中で、参加青年からロータリアンの社長が一生懸命参加していた姿に感激したという感想もあるくらい成果をあげている。ロータリアンと青少年問題のかかわりはそこにポイントがあると感じている。

明日のロータリーのためにアクトへの関与を積極的にお願いしたいのである。



昔の活力を復活するためにも会員増強が一番大事なことであると思っている。提唱以外のロータリーにも参加を要請することが大事であり、地区ガバナーの責任は大きい。最後に歴史を学ぶことが大事であろう。歴史を知らないことが衰退に結びついている。

・ (田中) 道下氏から「基調講演」をいただいたと感じている。

・ (小船井) 略

・ (吉村) 福井県から参加した。四つのポイントを説明したい。2002～03年度の山梨の月信に掲載されていたあるクラブ会長の投稿に、ロータリークラブの40歳以下のメンバー増強とアクトを「お見合いクラブ」としての意味付けを強調していた。会員増強面でキング会長がグローバルクエストで大増強をしたが、直後に急激に減少している。無理をした結果であった。クラブでも周年で会員増強して事業が終了後減少するという例が多い。「質か量か」という面で、青年団体での青年会議所は自主財源であり、海外アクトも同じである。

「ロータリーマジック」という言葉を昨年のピチャイ.ラタクルRI会長が提唱した。1985年からのポリオ撲滅運動が継続されているが、多くの感動を与えている。

・ (切越) 例会で国歌・ローターアクトソングを何故歌うのかという疑問を持ったことがある人が多いと推察するが、その疑問を仲間と語ることが少ないのが課題であると感じている。

活動費の問題では完全自己負担、クラブ負担、地区負担など多種にわたると思うが、個人負担が多くなってきていると推察している。

その結果アクターの活動が不活発になりつつある。

またロータリアンはアクターの職業・所得について把握していないのではないかと感じている。全国研修会で最大のコストは通信費(書類・郵便)であり、何故日本では自主財源で運用できないのかということを実際に考えていただきたい。

そして、ロータリーはアクトへの「方向性」を示していただきたい。今回の分科会をフリーの着席にしたが若干混乱したのはやはりコミュニケーションが不足していたからと思っている。地区幹事部門ではコミュニケーションについての充実を討議いただいている。

・ (田中) ローターアクトクラブはロータリアンの養成所であるというメンバーがあった。私は違うと思う。地域社会での専門職務を持つ社会人として成長することを期待しているのである。

・ (道下) 切越さんの意見に同意したい。ロータリーは変質している。ロータリーが変質したのは会長賞の創設、ポリオへの対応がスタートした1980年代であろう。会員資格の緩和、例会開催数の緩和、会員選考の簡素化、テリトリー制限の撤廃など「甘さのツケ」が回っている。

・ (吉村) 原点に戻るというテーマを補足したい。自分の所属している地区しか考えないアクターが多いと感じている、日本を考えないアクターが希薄であることが大きな問題と感じている。2つ目には、世界のアクターは日本のアクトの活動はきわめて不足している。日本のアクターが情報発信していないのである。三番目にアクトの基本は「奉仕を通じた親睦」であるが、親睦中心のアクトは問題であろう

・ (切越) 会員に理解いただきたいのは、大きな活動イコール素晴らしい活動というよりも、足元を見た活動をすることこそ組織の活性化につながると感じている。また、アクトの活動を段階的に討議する上での地区・ゾーン・日本レベルでの会合でのロータリーの支援をお願いしたい。



## ● 質疑応答

- ・ (2500地区北見) 全国研修会の実現に仕向けた者である。資金面でのお話をしたい。北見ではアクトへのクラブ負担を極力少なくしている。問題は地区の資金が極端に少ないことである。全国研修会への参加をより積極化させるべきであり、地区の補助が急務。世界大会へ地区から1名程度は出す体制にするべき。
- ・ (2500地区旭川モーニング) 切越さんに、ロータリーが応援する意味でも伺いたいが、方向性について詳しく教えていただきたい。
- ・ (切越) 提唱ロータリークラブはアクトの例会に参加するということであるが、例会にただ出席するというだけでは不満が残る。自分たちの活動が良いのか悪いのかを「評価」いただくことも大事と思う。
- ・ (2500地区旭川モーニング) それぞれが独立した団体である中で下部団体ではないが、基本理念は一緒であると思っている。お互いにコミュニケーションをとることが大事であり、待つことなく遠慮しないで提言をしていただきたい。旭川モーニングのアクトクラブは活力を持っている。
- ・ (2760地区愛知地区) 皆様の意見を聞いているとまさに転換期と感じている。提唱クラブのメンバーが若者たちにどこを向いて欲しいのかを提唱いただきたいし、一方アクトがどれだけ報告しているか心配な状況と思う。例会に出席いただくことが最初と思う。提唱ロータリークラブとして会長方針に必ずアクトに関するテーマを作ってくださいともお願いしたい。会社派遣もお願いしたい。
- ・ (2690地区) ロータリークラブが無理な増強をして失敗の話が出た。理念をしっかりと把握しないで入会勧誘をすることが失敗の本質と思う。
- ・ (道下) その通りである。
- ・ (2510地区札幌北) コミュニケーション面であるが、インターアクトからアクトに入会した。他地区との交流が大事と実感している。文化の違い、地域の違い、アクトの考え方の違いを実感できるから。
- ・ (吉村) 私も他地区での例会に結構出席している。この経験を広く伝えていただきたい。
- ・ (諏訪ローターアクト) 諏訪クラブは結構活発で、毎例会にロータリアンが出席いただいている。反面、会長・幹事でもアクトの存在を知らない人がいることに大きな問題を感じている。例会に出席いただきたい。
- ・ (ロータリアン) アクトもロータリーにアピールいただきたい。
- ・ (2510地区函館RAC) 初めての研修会参加である。この盛り上がりは今後につなげていく必要があるのではないかと感じている。「全国テーマ」を策定してクラブの年次計画を策定するというのも大事なのではないだろうか。
- ・ (吉村) メーリングリスト、クラブHP、地区間交流が実践されている。よく理解いただきたい。
- ・ (2740地区佐賀長崎) 時間の都合で11時に帰る。自分たちの情報発信が不足している、そして引継ぎが不足している。先輩から後輩への引継ぎが重要と思う。
- ・ (2660地区大阪東RAC) 会員は質というが、それが問題と思う。仕事が出来る人に加重がかかり、関心が無い人はなにもしなくても良いという組織がアクトである。会社はそうではない。
- ・ (吉村) アクトは自主性と思う。



- ・ (2760地区) 学生である。アクトを通して素晴らしい勉強をしている。アクト以外にもその素晴らしい体験を広げるべきとも思うし、社会人のアクターもより積極的になっていただきたいと感じている。
- ・ (2500地区北見RC) ロータリアンとしてアクトの皆様にご迷惑をおかけしていると思う。アクトを作っておいて関心が無いロータリアンが多いことにお詫びしたい。会員増強の件であるが、定年30歳を引き伸ばす必要はないと思う。会社からの派遣でアクトは有効な組織であると認識している。社会人教育の場としてのアクトに我々ロータリアンは注目すべき。社会奉仕活動・例会活動の中で、光る活動がある。皆さんの活動に自信をもっていただきたい。
- ・ (2820地区茨城) ロータリアンとアクターとのコミュニケーション不足はどこでも同じだなと認識した。つくば学園の所属であるが、我々が取り組んでいることは、当時ロータリアンはほとんど例会に来なかったことに対して、出席をお願いする活動をロータリー例会などでお願いした。それが効果が出てきて年に数十人出席してくれるようになっていく。